

基本方針

施設の方向性

01

賑わいの創出と地域交流の核となる魅力的な観光拠点

02

上恩方の豊かな自然環境を活かしたアウトドアの展開を視野にした施設機能の充実

03

公民連携による民間資金の導入やノウハウ活用による柔軟な運営

上位計画

社会動向

市民意見

ニーズ

夕やけ小やけふれあいの里のあるべき姿

上恩方町の自然と里山環境を保全

八王子市民共通の財産として施設と環境の維持保全

地域連携の再生

地域の核となる交流結節点と活性化を担う公益施設としての再生

観光施設の磨き上げ

ニーズやサステナブルな視点の反映と地域資源を活かした観光施設としての磨き上げ

民間の力を活用

公民連携による新たな付加価値の創出

活用テーマ

アウトドアレジャーを超えた、アウトドアカルチャーの創出

アウトドアカルチャーの創出

公民連携による新たな付加価値の創出と上恩方町の豊かな自然環境を活かした地域の魅力向上や持続可能性に貢献する地域連携の核となる観光交流拠点を目指します。

施設開設当初からの精神を受け継ぎながら、**アウトドアと地域の魅力を「耕し」、「育て」、「根差す」**ことにより、『カルチャー』としての昇華を図る

レジャーの「楽しさ」だけじゃない、「体験」「学び」「地域交流」を通じた「文化活動」の提供と、地域の「観光交流文化」を耕し・育て・根差すことをめざす

ハードのリノベーションに加え、**八王子・恩方地区らしいオリジナル性の高い運営、地域と連携したソフトコンテンツ・プログラムへとアップデート**

実現のために、目指すべきリノベーションのあり方

- 民間事業者の資金の導入やノウハウの活用を想定した**公民連携手法によるリノベーション**
- 既存建物を有効かつ効率的に利用**し、時代に応じた機能の見直しと新たな付加価値を創出するリノベーション
- 恩方地域の観光やまちづくりの核となる公共施設**としてのリノベーション
- 民間の資金やノウハウを活用し、LCC(ライフ・サイクル・コスト)として**行政コストの縮減**を実現するリノベーション

アウトドアカルチャー創出のための6つの「耕す」

地域の魅力 を耕す



※

歴史や文化、産業、自然、農産物やアクティビティなど、地域の魅力を見つめ直して新たなコンテンツを創出し、地域の魅力のさらなる向上を目指す。

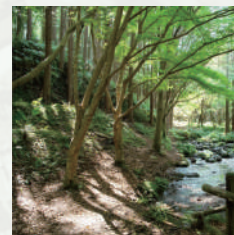
産業と人材ネットワーク を耕す



※

地域資源である産業や多様な企業・人材が連携することで、地域課題の解決や新たな事業・活動に繋げていく。新たなネットワークの構築により、地域の活力を高めていく。

自然環境 を耕す



※

学びを通して環境保全活動を行う等の自然体験プログラムを開発し、恩方地区らしい風景と豊かな自然環境を市の財産と捉え、次世代へ繋いでいくための多角的な取り組みを行う。

知恵 を耕す



※

エリア特性を生かした体験型のプログラムを推進し、市民や来訪者に「学びの場、経験の場」を提供する。プログラムを通して知見を蓄積し、興味・関心を高め、地域に継続的に関わる人材を増やしていく。

エリア回遊性 を耕す



※

周辺施設の結節点となることで、エリアの回遊性を高め、経済的な波及効果や観光資源の活性化等、当施設と市全体の互惠関係の構築を目指す。

民間事業者の活動 を耕す



※

施設を活用する民間事業者のノウハウと魅力的なサービスが最大限に発揮できるよう、最適な施設運営の手法と仕組みを検討し、施設価値の向上と維持に繋